

薬学部

〈創立年:1979年 会員数:4,800名〉



薬学部  
同窓会会長

田中 稔泰

薬学部同窓会は1979年に発足し、活動を行っておりますが、2006年からスタートした薬学部6年制の初めての卒業生を昨年3月に迎え、新たな会員が2年ぶりに増えました。今後、新しい卒業生との交流が、今まで以上に各地域で深まって行くことを期待している次第です。

同窓会活動としては、全国16支部(道内6、道外10支部)で活動を行っておりますが、会員数の増加に伴い道内においても、支部の細分化の動きが出ています。その各支部では、毎年、医療薬学セミナーと同時に総会や懇親会を開催し、その地域での薬業、医療に関する情報交換を行っております。また、毎年開催される日本薬剤師会学術大会開催地においては、例年その地域の支部が当番幹事となり、懇親会を開催しております。同窓会

の活動はこのような会員同士の交流を深めながら、それぞれの仕事やモチベーションを高めることを一つの目標としておりますので、全国の同窓生が一緒に参画できるよう支部役員の協力を得ながら活性化を図り、行ってまいりたいと考えております。また、近年、私立薬学部の新設が相次いだことから、全国の私立薬学部において入学者の定員割れを起こしている大学もあり、今後厳しい状況が到来する可能性があることを認識しております。我々同窓会としても、この点において大学に寄与できるように努力してまいりたいと考えております。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>

歯学部

〈創立年:1984年 会員数:約2,800名〉



歯学部  
同窓会会長

菱輪 隆宏

関係各位の皆様におかれましては、本会活動に対し多大なるご協力とご理解をいただき誠にありがとうございます。

同窓会は、誰のため、何のためにあるのかという本質を会員の仲間と常に考えながら日々活動しております。

主だった活動は全国各支部で開催される歯科臨床セミナーや学術講演会の応援と親睦を目的とした懇親会の開催、歯科医師会はじめ他大学、他学部同窓会など、外部組織の方々と連携。学内においては大学関係各位の方々と情報の共有と関係強化そして準会員である学生への心のこもった応援であります。また広報活動として年一度発行される会誌とホームページであります。

今年度は30期生を正会員として迎え入れ、来年には本会設立30周年の

記念事業が待ち受けており、忙しい年となりますが、皆様のご期待に応えられるよう、しっかり準備をして成果を上げたいと思っております。

会員の皆様、大学の皆様、そして次世代を担う可愛い後輩達が喜んでくれる活動を目指して志を共にする仲間達と全力で頑張ります。

状況は厳しいかもしれませんが、「明るく」「楽しく」「遅く」「しっかり前を向いて歩もう」と思っておりますので皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~d-alumni/dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp>  
事務局 札幌市中央区宮ヶ丘1-1-21  
TEL 011-621-7403 FAX 050-3355-6837

看護福祉学部/看護学科・札幌医療福祉専門学校/看護学科

〈創立年:1997年 会員数:約2,000名〉



看護学科  
同窓会会長

川村 武昭

福慧会(看護学科同窓会)は1997年に発足して、今年度で16年目を迎えました。また、看護福祉学部は開設20周年を迎えました。ひとえに卒業生の皆さまを始め、大学並びに諸関係団体の皆さまの日頃からのご協力のお陰であることに感謝しております。

主な活動内容としては、臨床福祉学科と協働で取り組む看護福祉学部同窓会セミナー及び看護福祉学部学会の企画及び運営を軸に、4学部及び歯科衛生士専門学校とともに協働で開催する同窓会連絡協議会や同窓会コラボ☆講演会があります。また、これらの活動状況や各地で活躍する同窓生の近況報告等を卒業生の皆さんにお伝えするものとして会報誌(Fukueikai)の発行やホームページの運営、そして同窓生同士の繋がりを保つものとして福慧会会員名簿の発行を3年毎に行っています。そして、同窓会活動について話し合う場として理事会を開催しており、活動の幅は年々広がりをみせています。

今年度は「看護福祉学部20年のあゆみ」をメインテーマとした学部学会において、中島紀恵子先生のご講演を拝聴できたことはとても嬉しいことでした。そして、一昨年の東日本大震災の発生を受けて、被災地で活動する福祉と看護

の卒業生を講師として迎えて看護福祉学部同窓会セミナーが開催できたことも感慨深いことでした。これまでにない多くの同窓生の出席があったこと、そして被災地の現状を聴くとともに、それぞれの職種の特長や他職種との協働について考え、お互いの思いを語り合える場を設けることができたことは、これからの同窓会活動が目指す一つの形なのではないかと感じているところです。

これからも様々な場所で奮闘している同窓生の皆さんの縦と横の繋がりが強く保たれるよう活動を続けていきたい、もしもの時の命綱になれるような活動をしていきたいと考えております。各期幹事ははじめ、理事一同で常に足下を見直していきながら、同窓生同士の交流と学校との繋がりを大切に同窓会を目指して、これからも活動を盛り立てていきたいと考えております。随時、ホームページや会報誌をとおして活動状況をお伝えしておりますので是非ご覧ください。皆さまからのご意見やご要望をお待ちしております。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/kango@hoku-iryu-u.ac.jp>

看護福祉学部/臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校/介護福祉学科

〈創立年:2000年 会員数:約2,000名〉



臨床福祉学科  
同窓会会長

小畑 友希

「誰のための専門職であるのか。」私は1997年に第1期生として卒業し15年間、大学の学びで得たこの「変わらぬ本質」だけは忘れずにいます。一方で私たちを取り巻く環境変化は著しく、震災後の復旧・復興、超高齢化社会、経済的格差や貧困問題、また現場では、介護保険制度の改正や障害者自立支援法に変わる障害者総合支援法の施行など制度の対応に追われる日々です。しかしいかなる時も、目のクライアントのために「本質」を見失わず、今に生かしていくためにも、専門家集団である同窓会の仲間たちとの日常的な連携協力、専門性の維持向上が大切と考えます。

私たち同窓会は、母校や後輩たちに貢献したい思いから、一昨年より「国

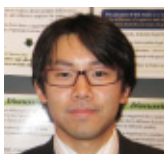
家試験対策講座」を年2回開催しています。また、看護学科と共催で「同窓会セミナー」を毎年5月に行っています。昨年は被災地で医療や福祉の専門職として体を張って活躍している卒業生を講師に招き学習しました。今後も同窓生が自己研鑽できる機会をもちたいと考えています。

最後になりましたが、日頃より当会の活動、運営にご指導ご協力賜りまして、心より御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

[fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp](mailto:fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp)

心理科学部/臨床心理学科

〈創立年:2006年 会員数:約500名〉



臨床心理学科  
同窓会会長

本谷 亮

本同窓会は2006年に発足し、今年で7年目を迎えました。日頃の同窓会活動へのご理解とご支援に心から感謝いたします。

今年度は、役員を3名増員(副会長2名、会計1名)し、新たな同窓会基盤の元、活動を行って参りました。本同窓会発足以来、6名体制で運営して参りましたが、役員が全国に散らばり、重要な会議への参加が困難になり、会員数増加に伴う役員業務の負担が大きくなって参りました。また、役員の固定化を避け、本同窓会のあり方を広く見直すためにもテコ入れをはかろうとしたことも役員増の理由の1つです。

学部生に対する同窓会活動の周知、社会的ニーズが高くアップデートな話題を取り上げたセミナー開催、同窓生の目を引くような内容の会報誌作成など、学部生や同窓生の「生の声」を取り入れながら活動を進めています。そして、大学、他の同窓会とも連携を強め、同窓会活動のさらなる充実を目指しますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/shinri-dousoukai@hotmail.co.jp>